出会い・結婚 妊娠・出産

核家族化や妊婦の高齢化、子育ての

●子育での孤立化や育児不安の増大

相談などにワンストップで対応

・妊娠・子育てほっとステーション

孤立化などによる育児不安の増大

●新型コロナウイルス禍の影響により子育て世

産後うつリスクがある産婦の割合 10.2%(R2)

③ 妊娠・出産・子育で期の包括的な支援

・各区の「妊娠・子育てほっとステーション」で

・妊娠・子育てほっとステーションの運営

こんにちは赤ちゃん訪問事業 34.077千円

新・すこやか未来アクションプラン第2期計画(令和2年度~令和6年度)に基づき、総合的な子ども・子育て支援施策のさらなる推進

若者への啓発・出会いと結婚の支援

### 結婚しない若者の増加

## ・・・・・生涯未婚率の上昇

- ●子育てのイメージが持てない若者の増加
- ●生涯未婚率の上昇と少子化の進行 50歳時未婚率 男27.6%/女18.2% (R2 国調) 合計特殊出生率 1.33⇒1.28(H30⇒R1 人口動態)

### 成人年齢の引き下げ(R4.4~)

## 不妊治療への保険適用(R4.4~)

帯の負担の増加

支援強化事業

産後ケア事業

· 多胎児支援事業

④ 経済的な支援

児童手当の給付

・こども医療費助成

⑤ ひとり親家庭への支援

児童扶養手当の給付

。 入院・通院ともに高校3年生まで

各種検討会等の実施

## ① 若者へのライフデザイン啓発

思春期の子どもの心と身体の変化や性について 理解してもらうとともに、妊娠・出産に適齢期 (卵子の減少・老化等) があることを学生などへ 啓発し、結婚・出産を望む若者が自分らしいライ フデザインを描けるよう支援する

- ・若者へのライフデザイン講座等の実施
- 。 中学、高校、大学等で実施 (市助産師会とも連携)
- 。 引き続き、希望する学校等に順次拡大

## ② 出会いと結婚への支援

結婚を希望する男女の出会いの場の創出や地域 を挙げて結婚を応援する機運を醸成、結婚に伴う 新生活への支援を行うとともに、コロナ禍を経た 若者の結婚・出生に関する意識調査を実施する (地域少子化対策重点推准交付金:国1/2 市1/2)

- ・出会い・結婚サポート事業 1.000千円
- 地域・民間団体等によるネットワークとの連携、 結婚応援 結パスポートの発行・協賛店の拡充
- 結婚新生活支援補助金 20.000千円
- 。R3年度同様、年齢要件、所得要件を緩和 (婚姻時年齢39歳以下、所得要件400万円未満)
- より多くの支援が行き届くよう補助上限を見直し

- ・結婚・出生に関する意識調査 5,995千円
- H26年度調査を参考にコロナ禍による考え方の 変化を含めた意識を把握
- 一般及び学生約15,000人に対し、WEB等を 活用したアンケート調査を実施

## 情報発信

· 新潟市公式LINEアカウントによる情報発信

・ にいがた子育て応援アプリ(リニューアル)

660千円

# 312千円 (こども未来部負担分)

・ 児童福祉施設等感染症対策 219.650千円

妊娠・出産・子育で期の支援

## 子どもの権利擁護の推進、 社会問題化する貧困、虐待への対応

- ●市子ども条例の施行にあわせた取組の推進
- ●子どもの貧困への対応

子どもの貧困率13.5%(H30) こども食堂数42(R3.12)

- 児童虐待相談対応件数の増加
- 1,592件⇒1,696件(R1⇒R2 児相·各区)

## こども家庭庁及びこどもコミッショナーの設置(R5.4~)

課題を抱える家庭を包括的に支援する子ども家 庭総合支援拠点を各区のほっとステーション内

に設置

## ⑥ 子どもの権利擁護の推進

市子ども条例の周知・啓発及び子どもの権利推 准委員会の設置等。 国の動向を注視しながら対応

15.724千円

1,000千円

4,040千円

2. 787千円

10.614.818千円

2, 182, 138千円

2. 162. 828千円

- ・新潟市子ども条例推進事業 8.160千円
- 国 (10/10) 関係機関と連携した条例の周知・啓発
- 子どもの権利推進委員会の設置 など

## ⑦ 子どもの貧困対策等の推進

R3年度実態調査を踏まえた子どもの未来応援プ ランの改定やヤングケアラーへの連携した対応

- 子どもの未来応援プランの改訂
- ヤングケアラー対策の推進
- 子ども食堂・食材調達に関する民間連携
- · 私立高等学校学費助成金

## 福祉部 子どもの学習・生活支援事業

28.825千円 。 ひとり親家庭も対象 R2参加者数146人のうちひとり親の児童・生徒77人

4.777千円

## ⑧ 児童虐待への対応、社会的養護

「社会的養育推進計画」に基づき、児童相談所 の体制を強化するほか、家庭養育を推進

## 拡充児童相談所の体制強化

- 。児童福祉司7名、児童心理司2名 増員予定
- ・児童相談所による相談・支援事業 539,886千円
- 511.100千円
- ・児童相談所庁舎整備改修事業 ・市立乳児院の管理運営 161. 214千円

## 良好な保育環境の確保と保育の質の 維持・向上、及び子どもの居場所の確保

- ●良好な保育環境の確保と市立園の適正配置 閉園決定数 7園 R4閉園調整予定数 2園
- ●複雑かつ大量の保育事務の効率化
- ●放課後児童クラブの整備
- ●保育士等の処遇改善

## 児童福祉職員等の賃金アップ(R4.2~)

家庭の状況に応じた適切な保育サービスとの マッチングを担う保育コンシェルジュを新たに 配置

## ⑨ 良好な保育環境の確保

保育士確保に向けた支援や施設整備補助等により 良好な保育環境の確保と市立園の適正配置を推進

- · 私立保育園等建設費補助事業 304,762千円
- 保育園等運営費(施設型給付等) 28,713,196千円
- ·保育士修学資金貸付等事業
  - 3.287千円
- ・保育士宿舎借り上げ支援事業 18.720千円

## ⑩ 保育の質の維持・向上

子育て支援の担い手となる人材の養成や質の向上 に向けた支援等

### ■点 子育て支援員研修実施事業 4.800千円

- 。 子育て支援員研修を、連携中枢都市圏事業として 連携市町村と共同実施
- ・連携拠点園での取組
- ・市内8園の連携拠点園を中心に、市全体の保育の

質の維持・向上に向けた取組を開始

## ① 保育事務の効率化

保育事務を外部委託化し資源を有効活用

・保育事務の外部委託

159. 405千円

## ⑩ 放課後児童クラブの安定的運営

児童数の増加に対応するため受入れ態勢を強化

- ・放課後児童クラブの運営 2,175,296千円
- 。 利用児童数 11,263人 ⇒ 11,512人 (見込)
- 民設クラブの補助制度への統一
- ・放課後児童クラブ施設整備 204,200千円 。 整備数 ⇒ 2クラブ

## (3) 保育士等処遇改善(4~9月分)

・保育士等賃金引き上げ措置 429.871千円

## 重点

- 1.500千円 養育費履行確保事業
- 養育費に係る公正証書の作成費用等の補助 養育費保証契約の本人負担費用の補助
- (養育費受給世帯1,237世帯(児扶受給者の27.6%))

ひとり親家庭等 就業・自立支援センター事業 4,661千円

## コロナ対策